

## エンジニア在籍出向受け入れ「助っ人エンジニア制度」 2021年5月1日より、古河電工から1名を受け入れ開始

トヨタに次ぐ2社目の制度活用によるエンジニア出向受け入れ。スタートアップでの成長機会を提供



古河電工

×

INTERSTELLAR  
TECHNOLOGIES

インターステラテクノロジズ株式会社（本社：北海道広尾郡大樹町 代表取締役社長：稲川貴大、以下インターステラテクノロジズ）は、「誰もが宇宙に手が届く未来をつくる」をビジョンに掲げ、「世界一低価格で、便利なロケット」を開発している宇宙開発スタートアップ企業です。この度、企業・大学・研究機関等からエンジニア人材の出向受け入れを行う「助っ人エンジニア制度」を活用し、2021年5月1日（土）から新たに古河電気工業株式会社より1名のエンジニアの受け入れを開始したことをお知らせいたします。出向受け入れ期間は2年です。本制度によるエンジニア人材の受け入れは、トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）に次ぐ2社目となります。また、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）からもJAXAのクロスアポイントメント制度\*により1名エンジニアを受け入れており、トヨタの2名のエンジニア受け入れとあわせると、弊社で受け入れを行っているエンジニアとしては4人目となります。

### スタートアップという新たな環境での越境学習、人材育成

近年、企業に所属しながら一定期間スタートアップ企業に出向して働くというレンタル移籍・在籍型出向の仕組みが話題になっています。大企業から出向する人材は、見習い等ではなくあくまで一従業員としてスタートアップ企業で働いていただくもので、前例も正解もなく自ら主体的に動いていくことで道を切り拓いていくスタートアップ企業での新たな視点の獲得や経験が、元の企業に戻った後に活かされることを期待した自己成長、人材育成の仕組みとなります。一方、スタートアップ企業側は、人材リソース不足の解消や、大企業ならではの仕組みやノウハウを吸収することができるメリットがあります。

インターステラテクノロジズでも、2020年4月から「助っ人エンジニア制度」という、様々なものづくりの業界(航空宇宙業界を含む)の企業・大学・研究機関等に所属するエンジニアの方の出向受け入れを開始しています。これまで受け入れたエンジニアの方々はエンジン開発やロケットシステム開発、生産技術等の領域で活躍いただいています。インターステラテクノロジズは、宇宙開発という夢が詰まった領域で、企業の枠を越境してスタートアップでの研究開発ができる人材育成の機会を提供します。

#### インターステラテクノロジズ 助っ人エンジニア制度



\*クロスアポイントメント制度は、企業・大学・研究機関等の人材が、組織の壁を越えて活躍できることを目指した制度です。本制度により研究者等は、出向元と出向先の双方で雇用されつつ、各機関で個別の研究開発等に従事できるようになります。

## 《各社の人事コメント》

### 古河電気工業（株）人事担当者からのコメント

古河電気工業（株）は、情報/エネルギー/モビリティが融合した社会基盤を創ることを掲げ、多岐にわたる製品を展開しています。この度、宇宙産業分野に挑戦されているインターステラテクノロジズ様のビジョンに共感し、当社従業員を「助っ人エンジニア」として派遣することにより、宇宙分野の研究開発に寄与させて頂くことになりました。人選にあたっては、公募形式により、自動車部品・電装技術の知見を持った熱意に溢れる応募者を募りました。これまで当社が世紀を越えて培ってきた技術力を活かして、宇宙開発の領域においても貢献できると確信しています。

### インターステラテクノロジズ（株）人事担当者からのコメント

古河電気工業（株）様とご縁が繋がり、弊社のビジョンに共感いただき、今回の人材受け入れとなりました。古河電気工業様とは、今回の人材交流をきっかけに、今後は共同研究などさらに発展したコラボレーションについてもディスカッションを進めていきたいとお話しています。宇宙は夢やロマンというイメージが強いですが、世界中で注目される成長産業であり、業界内の変化の動きも早いです。宇宙業界の現状は、IT業界の黎明期に例えられることも多く、成長産業かつ、スタートアップでの研究開発ができる、働くフィールドとしては他にはなかなかないチャレンジングで面白い環境ではないでしょうか。今後も、企業様等からのエンジニア受け入れを積極的に行っていきたいと考えています。

## 《会社概要》

### ■ インターステラテクノロジズ株式会社

インターステラテクノロジズは、「誰もが宇宙に手が届く未来をつくる」をビジョンに掲げ、「世界一低価格で、便利なロケット」を開発・製造する宇宙開発スタートアップ企業。観測ロケット「MOMO」と超小型人工衛星を宇宙空間に運搬する軌道投入ロケット「ZERO」を独自開発。2019年5月4日(土)、北海道大樹町で観測ロケット「宇宙品質にシフト MOMO3号機」を打上げ、民間企業が単独で開発製造したロケットとして国内で初めて宇宙空間に到達しました。



- 所在地 : 北海道広尾郡大樹町字芽武690番地4
- 代表者 : 代表取締役社長 稲川 貴大
- 事業内容 : ロケットの開発・製造・打上げサービス
- URL : <http://www.istellartech.com/>

### ■ 古河電気工業株式会社

当社は「メタル」「ポリマー」「フォトニクス」「高周波」の4つの技術を核として、情報通信、エネルギー、自動車、エレクトロニクス、建設・建築、新事業・開発品の6つの事業分野において、多岐にわたる製品を展開しています。世界シェアNo.1をはじめ、多くの事業領域で当社の製品は社会に貢献しています。

# 古河電工

- 本社 : 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号
- 社長 : 小林 敬一
- URL : <https://www.furukawa.co.jp/>